



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**197**期 中間報告書

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



取締役社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第197期上半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策が継続され、企業収益は引き続き堅調に推移し、雇用も安定し、穏やかな回復基調が続きました。しかしながら、国内消費は家計の節約志向の高まりにより足踏みを続けており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気減速、英国のEU離脱問題など、世界経済への影響懸念から、円高が進行し株式市場が低迷するなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『邁進14-16』において重点事業と位置づけている研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業の3事業を中心に営業力、開発力、生産力の強化を進め、あわせて収益力向上のための構造改革に取り組みました。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比2,584百万円（13.7%）増収の21,516百万円、営業利益は2,852百万円（159.4%）増益の4,641百万円、経常利益は2,884百万円（153.0%）増益の4,769百万円となりました。特別損益に固定資産売却損益や減損損失等を計上し、法人税等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,851百万円（153.2%）増益の3,060百万円となりました。

なお、中間配当につきましては、企業価値拡大に向けた設備投資等の実施を鑑み、見送りとさせていただきます。期末配当につきましては、2016年10月1日に実施した株式併合（10株を1株に併合）を考慮して、1株当たり70円を予定しております。

当フジボウグループは、企業価値の持続的拡大を最重要課題として、2014年度から2016年度を計

画期間とする中期経営計画『邁進14-16』を策定し、2014年4月よりこれを実行しております。本中期経営計画においては、①重点3事業の成長加速、②収益力あるニッチNo.1企業へ、③第4の柱となる事業育成、④経営力の更なる高度化を推進し、既存顧客、既存事業、既存製品・サービスの拡大による「連続的成長」の加速と、新規マーケット開拓、第4の柱事業育成、M&Aによる「非連続的成長」の種まきを行い、本格的成長へ「邁進」いたします。

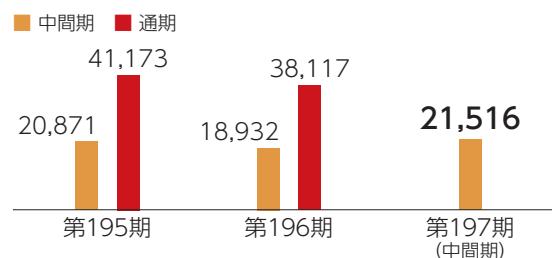
計画実現に向けた施策として、最重点事業である研磨材事業では、最先端プロセス・次世代プロセスに対応した最新の製品評価・検査機器の導入を進め、顧客満足度を高め、高収益分野の拡大を進めております。また、マーケティング機能を活用し、研磨材周辺部材を中心に新規用途需要の掘り起こしを行うとともに、研究開発部門の強化によりユーザーからの喫緊の要望に対応し、売上拡大につなげています。あわせて、受注の拡大に対応するため、フジボウ愛媛株式会社小坂井工場に製造ラインを増設いたしました。化学工業品事業では、柳井化学工業株式会社が、柳井工場内に新工場を増設、設備能力を強化し、10期連続で最高売上高を更新し、事業規模の拡大を進めております。繊維事業では、繊維製品のOEMも含めたブランド再構築による販売チャネルの拡大と、国内外グループ事業会社の素材、加工、縫製など生産能力の活用、および在庫管理強化・物流費用低減などサプライチェーンの効率化により総合的なコストダウンを進め、成長加速に向けた体質強化に取り組んでおります。その他の事業では、第4の柱事業と位置づけております貿易事業、化成製品事業への人材をはじめとする経営資源の投入により、生産・販売・管理体制の構築など事業育成に向けた基盤整備を進めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

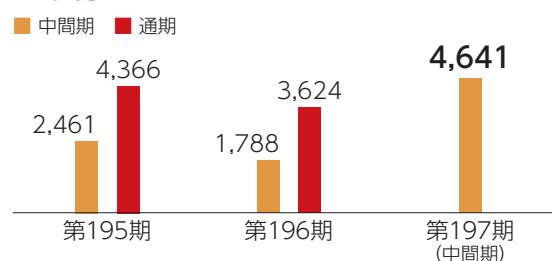
売上高

(単位:百万円)



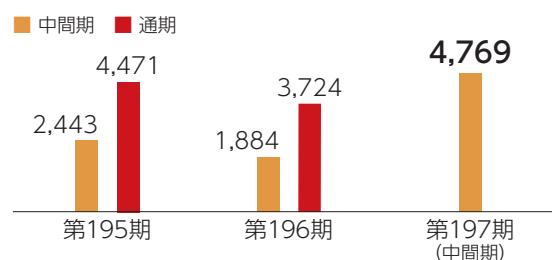
営業利益

(単位:百万円)



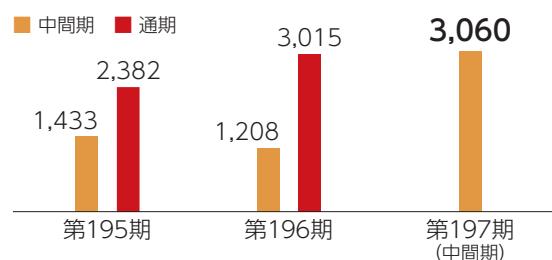
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



事業の概況



研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、液晶ガラス用途はパネル在庫調整により減少し、ハードディスク用途およびシリコンウエハー用途は前年並みで推移したものの、半導体デバイス用途（CMP）は通信用途を中心とした半導体需要の回復を受け拡大しました。一般工業用途もモデルチェンジにあわせたユーザーの需要期となり、大きく増加しました。

この結果、売上高は前年同期比3,060百万円増収の8,567百万円、営業利益は2,685百万円増益の4,030百万円となりました。



化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、新工場稼働による生産能力増強により、機能性材料・農薬中間体を中心に安定生産を継続することができました。

この結果、売上高は前年同期比1,078百万円増収の5,162百万円、営業利益は227百万円増益の440百万円となりました。





繊維事業

繊維事業は、インターネット、TVショッピングなど新規チャネルでの販売は拡大し、「B.V.D.」ブランドの定番品・レディスは堅調に推移しましたが、繊維製品全体では、既存チャネルの量販店、百貨店で売上回復に至りませんでした。百貨店向け商品を中心に、大幅な在庫削減による物流費用の低減など総合的なコストダウンを進めるとともに、採算性の高い製品へのシフトなど、体質改善に向けた構造改革を進めました。

この結果、売上高は前年同期比1,196百万円減収の6,009百万円、営業利益は100百万円減益の80百万円となりました。



その他の事業

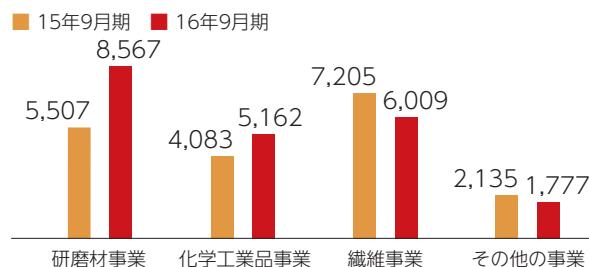
アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、車両輸出は回復傾向となりましたが、カリブ海の一部地域の経済減速に伴い、機械およびタイヤの当該地域への輸出が減少しました。化成品部門は、新規用途として取り組んでいる医療機器用部品が拡大し、デジタルカメラ用部品も回復基調となりました。精製部門は、エネルギー費を中心に溶剤再生コストの削減に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比358百万円減収の1,777百万円、営業利益は38百万円増益の87百万円となりました。



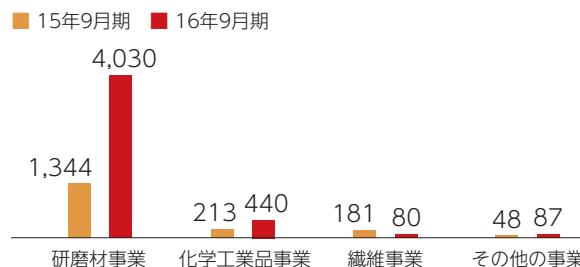
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期	科 目	当中間期	前 期
	2016年9月30日 現 在	2016年3月31日 現 在		2016年9月30日 現 在	2016年3月31日 現 在
資産の部	48,367	45,858	負債の部	19,935	19,412
流動資産	22,615	19,135	流動負債	12,393	11,599
現金及び預金	4,493	4,139	支払手形及び買掛金	4,836	4,774
受取手形及び売掛金	11,381	8,566	電子記録債務	386	319
商品及び製品	2,369	2,686	短期借入金	2,950	3,620
仕掛品	2,321	1,989	未払法人税等	1,346	345
原材料及び貯蔵品	1,258	1,180	賞与引当金	656	663
その他	832	627	返品調整引当金	68	99
貸倒引当金	△40	△53	その他	2,150	1,776
固定資産	25,751	26,722	固定負債	7,541	7,812
有形固定資産	23,060	23,871	長期借入金	451	604
建物及び構築物	5,644	5,909	退職給付に係る負債	4,820	4,710
機械装置及び運搬具	4,927	5,238	資産除去債務	207	205
土地	11,963	12,197	その他	2,062	2,291
その他	525	524			
無形固定資産	429	440	純資産の部	28,432	26,445
投資その他の資産	2,261	2,410	株主資本	26,743	24,363
その他	2,262	2,412	資本金	6,673	6,673
貸倒引当金	△1	△2	資本剰余金	2,174	2,174
資産合計	48,367	45,858	利益剰余金	18,461	16,080
			自己株式	△566	△565
			その他の包括利益累計額	1,689	2,082
			その他有価証券評価差額金	459	556
			繰延ヘッジ損益	△4	△10
			土地再評価差額金	1,278	1,400
			為替換算調整勘定	37	242
			退職給付に係る調整累計額	△80	△106
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	48,367	45,858

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	21,516	18,932
売上原価	12,714	12,535
売上総利益	8,802	6,396
販売費及び一般管理費	4,161	4,607
営業利益	4,641	1,788
営業外収益	214	215
受取利息	2	1
受取配当金	27	25
固定資産賃貸料	115	116
その他	69	71
営業外費用	86	120
支払利息	12	35
固定資産賃貸費用	33	32
その他	40	51
経常利益	4,769	1,884
特別利益	0	5
固定資産売却益	0	5
特別損失	355	54
固定資産処分損	74	15
減損損失	264	38
その他	15	0
税金等調整前四半期純利益	4,414	1,835
法人税、住民税及び事業税	1,475	662
法人税等調整額	△120	△35
四半期純利益	3,060	1,208
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,060	1,208

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	2,470	729
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△392	△1,980
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△1,655	353
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△62	△8
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	359	△905
現金及び現金同等物の 期首残高	4,099	3,239
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,458	2,333

トピックス

Topics 1

企業CM

企業CMでフジボウの多彩な顔をアピール

「あれも、これも全部フジボウ！」「知らないようで、いつも近くに！」。軽快な音楽に合わせて道行く人々がフジボウの製品に次々と出会う、企業CM「あなた、何フジボウ？」篇をご存じですか。BSフジの「プライムニュース」などで放映中です。

「プライムニュース」は、ちょっと硬派な報道番組ですが、難しいテーマを多彩なコメンテーターが登場

して掘り下げるという人気番組。熱い討論の合間にフジボウのCMが流れています。

この企業CMは、「研磨材事業」「化学工業品事業」「繊維事業」の3本柱で人々の暮らしを支え、明日を支えるグループの幅広い活動を表現しています。CM動画は当社ホームページでもご覧いただけます。



Topics 2

研磨材事業

IoTを支える研磨材POLYPAS®

インターネットに“モノ”をつないで、離れた場所にある“モノ”の状態をつかんだり、“モノ”を操作したりするIoT（Internet of Things：モノのインターネット）の進化に期待が高まっています。クルマの自動運転、家電やAV機器の自動制御に加え、工場の最適稼働や農産物の生産などにも活用が広がる勢いです。

IoTには、パソコンなどの通信機器に加えて、センサー、表示用のモニター、データの収集・蓄積に必要な記憶媒体などの活用が欠かせません。実はこれらの機器

やデバイスの性能向上に欠かせないのが精密研磨の技術なのです。

フジボウの研磨材POLYPAS®は、シリコンウエハーをはじめ、あらゆる半導体材料・金属・ガラス等の超精密研磨用にデザインされており、無欠陥、高精度、高平坦度の仕上げ面が得られます。

当社では、IoTの明日を支えるため、精密研磨をとおしてお客様の課題解決に向け、これからも有益な技術とサービスを提供します。



Topics 3

化学工業品事業

受託製造のニッチNo.1.企業へ

さまざまな機能や付加価値を持つファインケミカル。医薬品、農薬、電子材料など幅広い用途で活用が広がる精密化学品です。

フジボウグループで化学工業品事業を担う柳井化学工業(株)では、ファインケミカル分野の受託メーカーとして、最新の生産設備、蓄積された生産ノウハウを駆使してお客様からの多様な要望に応じています。

より付加価値の高い製品の開発・生産



の需要にスピーディーに応えるため、2015年末に本格稼働した柳井第4工場（山口県）に続き、2016年度は武生工場（福井県）の生産能力を増強します。



高度な技術蓄積が必要な素材分野では、常に激しい開発競争が繰り広げられています。柳井化学では、新たな機能性素材の開発を目指し、多様化する大手化学メーカーの要請にフレキシブルに対応するため、日々、化学合成技術の研鑽に努めています。

Topics 4

繊維事業

20周年を飛躍の年に。B.V.D. Ladies

2017年に発売から20周年を迎える「B.V.D. Ladies」。B.V.D.の商品コンセプトである“シンプルだけど機能的”を基本に、心地良い素材と快適なフィット感を重視



し、活動的な女性のボディラインを美しく引き出す、ナチュラルタイプのスポーティアンダーウェアを展開してきました。着け心地が楽というだけでなく、さまざまな機能を持つハーフトップやショーツは、多くの女性に支持されてきました。

20周年を迎えるにあたって、

これまで“黒”を用いていたブランドロゴマークを、メンズと同じ“赤”を基調としたロゴマークに一新し、各種メディアを通じた広告でブランドアピールを強めます。

2017年春夏シーズンには、シリーズ累計で100万枚を突破した人気商品の「涼（すず）ブラ」をはじめ、山登りやハイキング等のレジャーや旅行にぴったりの機能を持つ新商品「レジャスポ」シリーズもラインナップ。より多くのお客様に「B.V.D. Ladies」を知っていただき、記念すべき年にふさわしい盛り上がりを出します。



2017年 B.V.D. Ladiesは、デビュー20周年を迎えます。

会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体96名 連結1,451名
主要な事業内容	1. 各種繊維製品の製造、加工、販売 2. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 3. 各種化学工業品の製造、加工、販売

連結対象会社

■ 繊維事業

フジボウテキスタイル (株)
 タイフジボウテキスタイル (株)
 (株) フジボウアパレル
 フジボウトレーディング (株)
 (株) フジボウソーイング
 (株) サドソーイング
 富士紡服飾股份有限公司
 富士紡 (常州) 服装有限公司
 ジンタナフジボウコーポレーション
 アングル (株)
 富士紡 (上海) 商貿有限公司
 フジボウ愛媛 (株)
 三泰貿易 (株)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛 (株)
 富士ケミクロス (株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業 (株)

■ その他の事業

フジボウテキスタイル (株)
 フジボウ愛媛 (株)
 三泰貿易 (株)
 富士化工 (株)
 豊門商事 (株)

(注) 富士化工 (株) は、2016年10月1日付で富士ケミクロス (株) を吸収合併するとともに、同日付で商号をフジケミ (株) に変更しております。

役員

代表取締役社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 専務執行役員	青木隆夫
取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	小林敏彦
取締役 上席執行役員	大久保制宇
取締役	中野雅男
取締役	茅田泰三
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	飯田直樹
監査役	百瀬一夫

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三の両氏は社外取締役であります。
 2. 監査役の大西秀昭、飯田直樹、百瀬一夫の3氏は社外監査役であります。

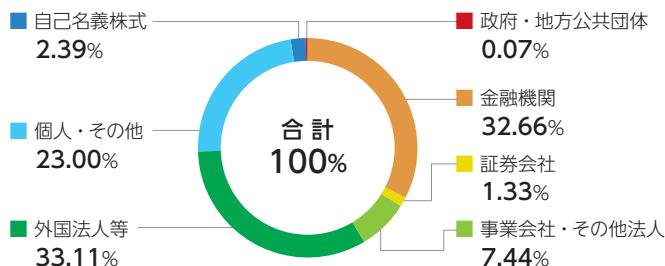
執行役員

上席執行役員	木原勝志
上席執行役員	小林智之
上席執行役員	藤岡敏文
上席執行役員	北口保
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	117,200,000株
株主数	7,999名

所有者別分布状況

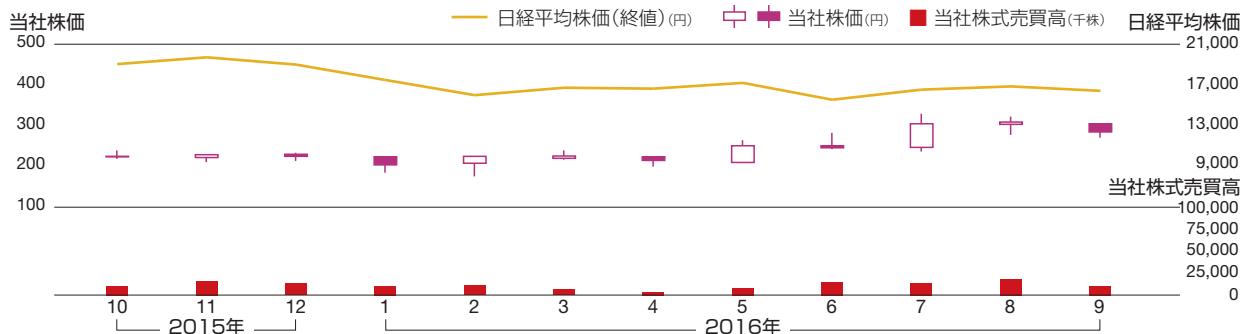


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	8,567,000	7.48
明治安田生命保険相互会社	5,335,000	4.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,055,000	4.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,000,000	4.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,618,000	4.03
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	3,238,000	2.83
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,225,000	2.81
フジボウ共栄会	2,918,000	2.55
JP MORGAN CHASE BANK 380634	2,619,000	2.28
福岡 務	2,062,000	1.80

(注) 1. 当社は自己株式を2,798,057株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



(注) 当社は2016年10月1日に株式併合(10株を1株に併合)および単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)を行っており、9月28日からその効果が当社株価・株式売買高に反映されているため、9月の当社株価・株式売買高につきましては、9月27日までの統計で記載しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-7111 (通話料無料)

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告
によることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
TEL 03-3665-7777(代)



<http://www.fujibo.co.jp/>

